



学校教育目標

- ◆自主 自主的に学習し生活する。
- ◆創造 発想を広げ創意工夫する。
- ◆奉仕 広い視野に立って、思いやりの心(愛)で行動する。



## 歴史を紡ぐ修学旅行 ～令和6年度修学旅行～

3年生は、6月2日から4日の日程で、京都・奈良方面への修学旅行に行ってきました。中村中学校の修学旅行は、「クリーン修学旅行」と称され、お世話になるバス会社やタクシー会社、そして見学をさせていただく寺社仏閣等に生徒全員が手縫いをした雑巾を寄贈しています。また、最終日には比叡山延暦寺において清掃活動も行ってきました。一昔前までは、いくつかの中学校が同様の取組をしていたそうですが、法隆寺や延暦寺の方々のお話では、今では中村中学校のみになってしまったとのことでした。

各寺社仏閣では、僧侶の方々からありがたいお話をいただくことができます。信仰する宗教にかかわらず「人」としてあるべき姿を説いて下さいます。そして何よりも素晴らしいのは、その説法を拝聴する生徒たちの姿です。真剣な面持ちで、静寂の中で説法に耳を傾ける生徒たち。生徒たちのそんな素晴らしい態度から、今年で53回目となったクリーン修学旅行が、確実に歴史を紡いでいることを確信させてくれました。



法隆寺での雑巾の贈呈



延暦寺での清掃活動



おかわり続出の食事

## 行動への期待 ～いじめ防止サミットより～

6月19日に、生徒会が主体的に企画運営する【いじめ防止サミット】が行われました。SNSによるいじめをテーマに、生徒会本部役員の生徒たちが考えた事例に対して、1年生から3年生が縦割りになって各教室に分かれ、問題点や対応策について話し合いました。

まずは、縦割りになったことで3年生がリーダーシップを発揮し、グループでの話し合いを活性化してくれました。より多様な意見が出されたことも縦割りの効果であるとも感じました。また、各会場の意見を取りまとめ、全校生徒に伝える生徒会本部役員の生徒たちが、ポイントを絞って話し合いの内容をまとめ、発表していたことも驚きでした。

生徒が主体となって取り組んだ【いじめ防止サミット】。大切なことは、どう考えたかではなく、これからどう行動するかです。頭で解っていても、行動は別であるならば、それは解っていないのと同じです。SNSを含め「いじめは絶対にしない」行動に期待します。



3年生がリーダーとなった話し合い



生徒会役員による全校への共有

## 芳賀郡市総体陸上大会

6月25日に芳賀郡市総合体育大会陸上大会が開催されました。中村中からは、陸上部を中心とし、特設陸上部員も参加しました。中村中は、総合準優勝・女子総合優勝・2年女子優勝に輝きました。また、2年女子100m・3年男子110mハードル・3年男子砲丸投げ・共通女子400mリレー・共通男子400mリレーの五種目で新記録を樹立するなど、歴史に残る大会となりました。

芳賀郡内全15校が集結して行われる陸上大会は、陸上部の有無にかかわらず、格式ある大会です。その大会で上位に輝いたり、新記録を樹立することは容易なことではないはずです。

これまで「1秒」「1cm」を追い求めてひたすらに努力を積み重ねてきた生徒たちに心からの拍手を贈ると共に、敬意を表します。

7月23日から開催される栃木県総体への出場権を得た生徒の皆さんには、県大会での更なる活躍を祈っております。



新記録を樹立した女子リレー



新記録を樹立した男子リレー



## 【子育て談話室】 絶対的幸福感と相対的幸福感

今年度も学校だよりの中で、子育て談話室をお届けします。悩みの尽きない思春期の子育てですが、保護者の皆様の一助となれば幸いです。(子育てテイルムも盛況です。ありがとうございます。)

今月は、「絶対的幸福感」と「相対的幸福感」についてです。誰もが幸せな時間を送りたいと願っています。幸せだと感じられる時間が多ければ、自己肯定感も高まり、色々なことに精力的に取り組めるようになります。しかし、その「幸せ」の感じ方には個人差があるようです。3食の食事ができて、家族と雨風をしのいで生活できていること自体を幸せだと感じられる絶対的幸福感。些細なことでも幸せだと感じることができます。一方、他人と比較して幸せの価値観を見いだす相対的幸福感は、幸せを感じる機会を逃しがちです。「隣の芝は青く見える」という言葉も、相対的幸福感を象徴しているものなのかもしれません。ちょっとしたことで、当たり前のことでも「幸せ」だと感じることができたら、大切な人達の幸せ指数も上がるのかもしれない。



## 学校運営協議会を開催しました

5月30日(木)に、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を開催しました。学校だより4月号でお伝えしたように、コミュニティ・スクールは、「地域とともにある学校」を目指し、学校と地域住民の方々と力を合わせて学校の運営に取り組むものです。中村中学校、中村小学校、長田小学校の3校を代表する委員の方にお越しいただき、真岡市教育委員会からのコミュニティ・スクールの概要説明、各学校の経営方針の説明、今後の取り組みについて共通理解を図りました。

今後も、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて、保護者の皆様、地域の皆様にもご協力いただく場合があると思います。その際には、ご協力をお願いいたします。



## 移動音楽教室に参加しました

6月18日(火)に、真岡市民会館にて、全校生が移動音楽教室に参加しました。当日は、「リングマ」という団体の皆さんが、アフリカの民族音楽を演奏しました。

演目の中で行われたダンスレッスンでは会場全体では、司会の方の「頭、肩、腰、パンパンパン」というフレーズに合わせて全員が一体となってダンスを踊りました。生徒の感想から、移動音楽教室をただ鑑賞しただけでなく、自分たちも一緒に参加できたということが、生徒の心の中に強く印象に残ったようです。



## 避難訓練を行いました

6月6日(木)に、不審者が校内に侵入したことを想定した避難訓練を行いました。不審者役の真岡警察署生活安全課の方が3年生昇降口から侵入し、教員が不審者への対応方法を確認しました。また、全校生徒は緊急時に備えた校庭への避難経路の確認、登下校中に不審者に会ったときの対応の仕方などを確認しました。今後も、学校の安全面への対策はもちろん、自分の身は自分で守ることを意識できるようにしていきたいです。

